



令和元年6月17日発行

高宮だより

安来市立第二中学校通信

第3号

二中生躍動！市総体 熱い応援ありがとうございました！

女子バレー部 副キャプテン 深田柚葉さん

私達は市総体で準優勝しました。4月から新しくなったチームで一生懸命を出し、ボールを追いかけてきました。その成果がでたと思います。応援してくださった皆さん、ありがとうございました。県総体も決勝まで残るので、応援よろしくをお願いします。



野球部 副キャプテン 實重壮真さん

僕たち野球部は初戦に伯太と戦い、2-3で勝ち、次に一中と戦い0-1で負けました。県総体には行けませんでした。今までやってきた守りから流れをもってくる野球ができました。応援ありがとうございました。

女子テニス部 副キャプテン 山中詩織さん

個人では、飛田・松本ペアと細田・牧野ペアの2ペアが県総体の出場権を得ました。団体では惜しくも3位という結果でした。皆さんの応援は、私たちの大きな力となりました。感謝しています。ありがとうございました。



男子テニス部 副キャプテン 黒川泰明さん

個人・団体とも県大会への出場権を得ることはできませんでしたが、全員が練習の成果を発揮できたと思います。今まで支えてくださった保護者や地域の皆さん、指導してくださった先生方、ありがとうございました。

市総体 体操の部出場 細田さくらさん

私は先日行われた市総体で2位という結果でした。2位でしたが、1位では気付けなかった自分の直すところが今回の大会でわかったのでよかったです。県総体でも自分のベストがだせるようにがんばります。



東部地区吹奏楽祭出演 副部長 福田奈々子さん

東部地区吹奏楽祭は、1年生にとって初めての演奏会でした。練習ではできたのに本番になったらできなかった所がたくさんあり、課題がはっきりしました。この経験を次に生かしたいです。

【6月8日（土）県民会館大ホールにて「西遊記」「銀河鉄道999」の2曲を演奏しました。】

6月13日(木)後援会総会開催～いつも温かいご支援ありがとうございます！

校区の住民の皆様には、後援会を組織し会費等で安来二中の教育振興を後援していただいております。今年度も後援会会計を部活動の各種大会派遣費、強化費、備品・用具費等をはじめ、様々な教育助成に使わせていただくことを、6月13日の総会において承認いただきました。今後とも、安来二中の教育活動にご支援・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

6月13日(木)薬物乱用防止教室実施

私も正直薬物を使っている人は、「私は絶対使わないし、関係ない別の世界の人だ」のように考えていました。でも50人に1人は使用しているということを聞いて、私に一生関係ないものではないなと思いました。薬物を使うとやめたくてもやめられないという怖いもののないで絶対使わないようにしたいです。（飯橋ゆずさん）

（講師 安来第一病院薬剤師 上橋先生）



生徒会活動紹介①

いじめについて考える生徒集会の実施

生徒会の今年度の目標は「**希望展潔（きしょうてんけつ）**」です。希望・上昇・発展・潔白の四つの語から一文字ずつ取ってつくった創作四字熟語です。また、スローガンは「**仲良く笑顔で過ごしやすい学校へ**」であり、このスローガンの達成に向けて、生徒会執行部が中心となり、様々な活動をしています。

先月は「いじめについて考える生徒集会」を企画してくれました。まず、実際に校内で起こっている、悪口や陰口等のいじめの実態をもとにして、執行部が寸劇を行い、その後、グループで「悪口を言ったり、相手が嫌がることをしてしまうのはなぜだろう」ということについて話し合い、そのような状況をなくすために、自分たちはどうすればよいか考えました。

集会のまとめに、生徒会書記の石黒百々花さんからこのような話がありました。

「私たちも、この生徒集会を行う前に、執行部11人で『なぜ悪口を言ったり、人が嫌がることをやってしまったらいいのか』話し合いました。その中で「相手が自分の思い通りにならないから」、「自分と考えや感じ方が合わないから」イライラして、相手のことを嫌いに感じ、悪口や陰口を言ってしまっているのではないかと意見が出ました。また「一人一人好きなことや感じ方も違う」という意見も出ました。一人一人違うから、自分の考えや思いを基準にしてしまうと、お互いが自分のことを否定されたように思ってしまうのかな・・・とか。考えや感じ方は一人一人違うから、自分と違う意見でも「そうなんだ～」と一度受け止めてくれたら安心できる・・・などの意見も出ました。今日、全校で話し合ったことも含めて、**一人一人違うことをみんなが理解していけば、居心地のいい安来二中になると感じました。**」

* 7月はPTA便りが発行されるため、「高宮便り第4号」は8月中旬に発行いたします。（文責 竹崎葉子）